

平成30年度 九州ブロック研究集会

「建築士の集い」熊本大会



大会テーマ 『 一陽来復 ～未来へと向かって～ 』

平成30年6月23日(土) 受付11:30～開会12:20 大会登録料：1,000円

会場：くまもと森都心プラザ 5階「プラザホール」

全体会：地域実践活動発表「地域とのつながりを築く」

被災地から「今だから伝えたいこと」～第1部～

第1分科会：地域実践活動テーブル討議「地域とのつながりを築く」

第2分科会：被災地から「今だから伝えたいこと」～第2部～

第3分科会：くまもと城下町めぐり

意見交換会：19:00～ KKRホテル熊本～熊本城に一番近いホテル～ 参加費：6,000円

エクスカージョン「熊本城復旧現場見学会」6月24日(日)9:30～(参加費無料)

参加締切：平成30年5月11日(金)まで



第1分科会



第2分科会



第3分科会

主催：公益社団法人 日本建築士会連合会九州ブロック会

主管：公益社団法人 熊本県建築士会

平成 30 年度 九州ブロック研究集会「建築士の集い」熊本大会へのご案内

開催日時 平成 30 年 6 月 23 日 (土) 受付 11:30~12:20
研究集会 12:20~18:00
意見交換会 19:00~21:00

大会テーマ 『一陽来復 ～未来へと向かって～』

会 場 研究集会 くまもと森都心プラザ 5階「プラザホール」他
〒860-0047 熊本市西区春日 1 丁目 14-1
TEL 096-355-7400

意見交換会 K K R ホテル熊本 ～熊本城に一番近いホテル～
〒860-0001 熊本市中央区千葉城町 3-31
TEL 096-355-0121

開催趣旨 平成 28 年熊本地震により、熊本・大分の広い地域で甚大な被害が発生しました。あれから 2 年が経ち、復旧・復興が進んでいく状況の中で感じたことは、普段から人と人とのつながり、地域とのつながりを築き、日ごろから災害に備えておくことがいかに大切だったかということです。また、今後の長い復興のために未来の建築士を育て、伝統を継承していくことも非常に大事な事となっています。本大会では建築士がひとつ屋根の下に集い、今後起こりうる災害のために何が必要なのか、未来へと向かって、学び、考え、語らう大会といたします。

全大会概要 各県代表による地域実践活動の発表：「地域とのつながりを築く」
パネルディスカッション：被災地から「今だから伝えたいこと」～第 1 部～
会 場：くまもと森都心プラザ 5 階「プラザホール」489 席

分科会概要 第 1 分科会 テーマ：地域実践活動テーブル討議「地域とのつながりを築く」
会 場：くまもと森都心プラザ 6 階「A B 会議室」
人 数：80 名

第 2 分科会 テーマ：被災地から「今だから伝えたいこと」～第 2 部～ (パネルディスカッション)
会 場：くまもと森都心プラザ 5 階「プラザホール」客席数 489 席
人 数：489 名まで

第 3 分科会 テーマ：「くまもと城下町めぐり」 (まちあるき)
会 場：熊本市新町・古町地区
人 数：40 名 (20 名×2 班)

意見交換会概要 大会参加者による意見交換および交流
テーマ：「夜もがまだす！～復興のシンボルを望みながら～」
会 場：K K R ホテル熊本 2 階 五峯・城彩

参加者	九州各県建築士会より 約 320 名 熊本県建築士会より 約 150 名 熊本県内新規合格者 約 30 名 合計 500 名程度の参加を想定
参加費	大会参加費 1,000 円/人 意見交換会参加費 6,000 円/人 ※参加費入金後の返金は致しかねます。
C P D 単位	当日の出席結果をもとに C P D を付与します。
交通アクセス	会場までの交通については各自手配、各自負担とします。 森都心プラザ：熊本駅より徒歩 5 分、熊本市電(A系統)熊本駅前電停より徒歩 3 分 K K R ホテル熊本：熊本市電市役所前より徒歩 6 分 ※土曜の夜の繁華街は渋滞が発生し、駐車場に停めることも一苦勞です。 車で来て、宿泊される方は、昼のうちにホテル提携の駐車場に車を止め、 大会会場までは熊本市電を使って来られることをお勧めします。 繁華街から会場前まで 20 分程度、片道 170 円です。
宿泊	宿泊が必要な方は各自手配、各自負担とします。
申込方法	大会参加者申込書にて各県所属建築士会へお申し込みください。 ※各県内申込締切は 5 月 1 1 日（金）必着です。
大会事務局	公益社団法人 熊本県建築士会 〒862-0954 熊本市中央区神水 1 丁目 3-7 TEL 096-383-3200 FAX 096-383-1543 E-mail:LEB0354@nifty.ne.jp

研究集会プログラム

テーマ 『一陽来復～未来へと向かって～』

会場 くまもと森都心プラザ 5階「プラザホール」他
〒860-0047 熊本市西区春日1丁目14-1
TEL 096-355-7400

プログラム

- 9:00 準備開始
全体会場、各分科会会場の準備
- 9:10 九州ブロック青年・女性建築士協議会（5階 多目的室）
- 11:30 受付開始
- 12:20 開会式
開会の辞 [熊本県建築士会副会長]
建築士の歌斉唱
建築士会綱領唱和 [熊本県建築士会青年部副副会長]
日本建築士会連合会会長挨拶 [日本建築士会連合会会長]
九州ブロック会会長挨拶 [九州ブロック会会長]
九州ブロック青年協議会会長挨拶 [九州ブロック青年協議会会長]
開催県会長挨拶 [熊本県建築士会会長]
実行委員長挨拶 [熊本県建築士会青年部会長]
来賓祝辞 [熊本県代表（予定）]
[熊本市代表（予定）]
- 12:50 運営説明
- 13:00 全体会開始（5階 プラザホール）
地域実践活動発表（各県代表者10分（7' +3'））×8県
- 14:20 被災地から「今だから伝えたいこと」～第1部～
- 15:20 投票、分科会移動（小休憩）
- 15:30 分科会開始
第1分科会 地域実践活動テーブル討議「地域とのつながりを築く」（A B会議室）
第2分科会 被災地から「今だから伝えたいこと」～第2部～（プラザホール）
第3分科会 「くまもと城下町めぐり」（熊本市新町・古町界限）
- 17:30 分科会終了（小休憩）
- 17:40 閉会式（5階 プラザホール）
第1分科会報告 [沖縄県青年委員長推薦者]
第2分科会報告 [沖縄県女性委員長推薦者]
第3分科会報告 [鹿児島県青年委員長推薦者]
- 17:55 大会講評 [九州ブロック女性建築士協議会会長]
閉会の辞 [九州ブロック青年建築士協議会会長]
- 18:00 終了

地域実践活動発表

テーマ 「地域とのつながりを築く」

会場 くまもと森都心プラザ 5階 プラザホール

内容 私たち建築士が、各地域に根ざして行ってきたさまざまな活動や、地域のための先進的な提案事例、行政や市民、学生などへの協力活動など、建築士として、地域で必要とされている九州各地の取組について県ごとに発表し、今後の活動について、建築士会の近未来についての情報共有の機会とします。

また、全国大会における九州ブロック会代表発表者の選出も同時に行うこととします。

プログラム 13:00 全体会開始 (5階 プラザホール)

地域実践活動発表 (各県代表者 10分 (8' +2')) × 8県

①沖縄県 ②鹿児島県 ③大分県 ④長崎県 ⑤佐賀県 ⑥宮崎県 ⑦福岡県 ⑧熊本県

15:20 投票

発表者 各県代表者 2名 (発表者、補助者)

発表内容 各県毎に 1事例のみの発表とし、テーマに沿った内容で、団体・個人・建築士会の関与は問いませんが、建築士会会員が主体となって参画する事例とします。

投票方法 九州ブロック会大会運営規定に基づき、下記の要領で投票を行います。

- ・ 選考委員会 (九州ブロック会会長及び、九州ブロック青年建築士協議会会長、各県青年委員長、女性委員長で構成) の 18名と各県 10名 (各県青年委員長が選ぶ。※女性 2名以上) が発表を踏まえて投票箱へ投票を行い、その結果をもって上位 1名を決定する。

各県代表の 10名は各自 1ポイントとする ——80ポイント

選考委員会の委員は 1名 5ポイントとする ——90ポイント

計 170ポイント

- ・ 投票は複数の発表者を選出 (選択) できるシステムとするが、ただし、自県発表者は選出できない。
- ・ 選考委員と各県の代表者は、所定の場所に設置された投票箱へ投票し、開票は選考委員会で行う。
- ・ 選考委員の投票は、1県に対して上限 3ポイントまでとする。

第1分科会

テーマ 地域実践活動テーブル討議「地域とのつながりを築く」

会場 熊本森都心プラザ 6階「A・B会議室」

人数 80名 各県代表者2名（発表者・補助者）
各県8名（大会参加者）

内容 全体会で発表された地域実践活動のテーブル討議。
各県の地域実践活動発表者（2名）が各グループ（8グループ）に分かれて発表の補助説明を行い、大会参加者と共に活動の内容についてテーブル討議を行います。
最後に全体での発表を行い、参加者みんなで情報を共有できるようにし地域とのつながりを築きます。

プログラム

- | | |
|-------|------------------------|
| 15:20 | 分科会受付開始 |
| 15:30 | 分科会開会挨拶及び運営説明 |
| 15:35 | 地域実践活動テーブル討議前半開始 |
| 16:10 | 地域実践活動テーブル討議後半開始 |
| 16:45 | 全体発表（まとめ）
5分×8県＝40分 |
| 17:25 | 分科会閉会挨拶 |
| 17:30 | 分科会終了 |
| 17:40 | 閉会式（5階プラザホール） |

第2分科会

テーマ 被災地から「今だから伝えたいこと」～第2部～

会場 くまもと森都心プラザ 5階 プラザホール

内容 近年九州では熊本地震（2016）や九州北部豪雨（2017）など未曾有の大災害がありました。被災地は未だ復興道半ばの状況ですが、その現状を知る機会は少なくなっています。そこで、被災地の現状を把握するとともに過去の災害から経験を学ぶ機会として、各分野からパネリスト12名を招き、被災地での活動や防災への備えなどを紹介し、今一度『建築士に何ができるのか』を考えてみたいと思います。

パネリスト（敬称略・順不同）

清本 多恵子（東日本大震災／宮城県建築士会）
星野 辰也（新潟県中越地震／星野材木店）
宮定 章（阪神淡路大震災／NPO 法人 まち・コミュニケーション）
鹿瀬島 正剛（弁護士／熊本県弁護士会）
土黒 功司（みなし仮説入居者支援／（一社）よか隊ネット熊本）
木村 洋子（地域復興支援活動／椿ヶ丘復興支援ハウス）
矢ヶ部 孝志（障がい者支援活動／NPO 法人 UD くまもと）
伊藤 憲吾（建築士／建築士会九州ブロック青年女性委員会）
宮本 茂史（町屋復旧・復興活動／新町・古町町屋研究会）
遠藤 由貴（学生ボランティア／KASEI 九州建築学生仮設住宅環境改善プロジェクト）
中島 孝行（ヘリテージマネージャー／NPO 法人八女町並みデザイン研究会）

コーディネーター

元熊本県建築住宅局長 田邊 肇 氏（熊本地震についても話していただきます）

プログラム

- 15：30 分科会開会
- 15：35 プレゼンテーション（7分／1人×8人＝56分）
※第1部でプレゼンテーションを行う、4人（東日本大震災、新潟県中越地震、阪神淡路大震災、熊本地震について話すパネリスト）を除いたパネリスト
- 16：35 ディスカッション（50分）
- 17：30 分科会閉会

第3分科会

テーマ 「くまもと城下町めぐり」

会場 熊本市新町・古町界隈

人数 20名×2班 計40名

内容 熊本城築城当時の町割や、町屋等の歴史的建造物や寺院などが残るくまもと城下町をまちの案内人が案内する。城下町の風情を感じてもらおうと共に、熊本地震で大きな被害を受けた当該地区の現状も紹介する。

プログラム

15:20	分科会受付
15:30~15:40	行程等説明
15:40	森都心プラザ出発
15:50~15:56	電車移動（熊本駅前-呉服町） ※市電貸し切り予定
16:00	古町到着
16:00~17:00	まち歩き 一町一寺の町割が残る古町界隈を散策します。 歴史的建造物を活用した建物にも立ち寄ります。
17:00~17:30	徒歩で森都心プラザへ
17:30	森都心プラザ着



イメージ写真

被災地から 今だから 伝えたいこと



平成30年度九州ブロック研究集会
建築士の集い熊本大会
＜第二分科会＞

近年九州では熊本地震（2016）や九州北部豪雨（2017）など未曾有の大災害がありました。

被災地は未だ復興道半ばの状況ですが、その現状を知る機会は少なくなっています。

そこで、被災地の現状を把握するとともに過去の災害から経験を学ぶ機会として、各分野からパネリスト12名を招き、被災地での活動や防災への備えなどを紹介し、今一度『建築士に何ができるのか』を考えてみたいと思います。

コーディネーター
元熊本県建築住宅局長
田邊 肇 氏
(熊本県建築住宅センター専務理事)

熊本地震発災時、熊本県建築住宅局長として仮設住宅の常識を破った「熊本型仮設住宅」を指揮

2018年6月23日(土)

会場 | くまもと森都心プラザ5階プラザホール

開演 | 15:30-17:30

パネリスト (敬称略・順不同)

清本 多恵子 (東日本大震災 / 宮城県建築士会)

星野 勇人 (新潟県中越地震 / 星野材木店)

宮定 章 (阪神淡路大震災 / NPO法人まち・コミュニケーション)

鹿瀬島 正剛 (弁護士 / 熊本県弁護士会)

土黒 功司 (みなし仮設入居者支援 / よか隊ネット熊本)

木村 洋子 (地域復興支援活動 / 椿ヶ丘復興支援ハウス)

矢ヶ部 孝志 (障がい者支援活動 / NPO法人UDくまもと)

伊藤 憲吾 (建築士 / 建築士会九州ブロック青年女性委員会)

宮本 茂史 (町屋復旧・復興活動 / 新町・古町町屋研究会)

遠藤 由貴 (学生ボランティア / KASEI九州建築学生仮設住宅環境改善プロジェクト)

中島 孝行 (ヘリテージマネージャー / NPO法人八女町並みデザイン研究会)



熊本地震で整備した熊本型の応急仮設住宅（西原村小森仮設団地）写真：kulos

パネリスト紹介

建築の専門家だけでなく、他分野で活躍するパネリストも交え、被災地の現状や災害の経験を伝えます



清本 多恵子 (きよもと たえこ)
東日本大震災 / 宮城県建築士会

1957年 宮城県仙台市生まれ
1987年 東北大学農学部水産学科中退
株式会社東北建築センター



矢ヶ部 孝志 (やかべ たかし)
障がい者支援活動 / NPO法人UDくまもと

1969年 福岡県生まれ
1987年 長崎県立佐世保西高校卒業
NPO法人UDくまもと理事長



星野 勇人 (ほしの ゆうと)
新潟県中越地震 / 星野材木店

1976年 新潟県山古志村(現 長岡市)生まれ
1995年 新潟県立小千谷西高等学校卒業
山古志村 星野材木店



伊藤 憲吾 (いとう けんご)
建築士 / 建築士会九州ブロック青年女性委員会

1976年 大分県生まれ
1995年 大分県立鶴崎工業高校卒業
伊藤憲吾建築設計事務所代表



宮定 章 (みやさだ あきら)
阪神淡路大震災 / NPO法人まち・コミュニケーション

1975年 兵庫県生まれ
2002年 大阪大学大学院工学研究科修了
NPO法人まち・コミュニケーション
代表理事



宮本 茂史 (みやもと あきら)
町屋復旧・復興活動 / 新町・古町 町屋研究会

1975年 熊本県生まれ
2000年 熊本大学大学院自然科学研究科修了
宮本建設株式会社専務取締役



鹿瀬島 正剛 (かせしま せいごう)
弁護士 / 熊本県弁護士会

1967年 熊本県生まれ
1991年 早稲田大学政治経済学部政治学科卒
2000年 弁護士登録
熊本県弁護士会災害対策委員会委員長



遠藤 由貴 (えんどう ゆき)
学生ボランティア / KASE九州建築学生仮設住宅
環境改善プロジェクト

1993年 鹿児島県生まれ
2018年 九州大学大学院修士課程修了
KASE2017学生代表



土黒 功司 (ひじくろ こうじ)
みなし仮設入居者支援 / よか隊ネット熊本

1978年 熊本県生まれ
2002年 熊本大学大学院自然科学研究科卒業
よか隊ネット熊本事務局長



中島 孝行 (なかしま たかゆき)
ヘリテージマネージャー / NPO法人八女町並み
デザイン研究会

1958年 福岡県生まれ
1980年 中央工学校卒業
NPO法人八女町並みデザイン研究会



木村 洋子 (きむら ようこ)
地域復興支援活動 / 椿ヶ丘復興支援ハウス

1947年 福岡県北九州市生まれ
2006年 京都造形芸術大学環境デザイン学科卒業
アトリエPAO一級建築士事務所代表

プログラム (予定)

14:20 **【全体】第1部プレゼンテーション**
(清本氏・星野氏・宮定氏・田邊氏)

15:20 休憩

15:30 **【第二分科会】第2部プレゼンテーション**

各パネリストが約7分のプレゼンテーションを行い、その後テーマに沿ってパネルディスカッションを分科会参加者も含めて行います

17:30 分科会終了

コーディネーター紹介



田邊 肇 (たなべ はじめ)
元熊本県建築住宅局長

1957年 熊本県生まれ
1980年 熊本大学工学部建築学科卒業・熊本県入庁
2017年 熊本県庁退職
(一財)熊本県建築住宅センター専務理事

熊本地震発災時、熊本県建築住宅局長として仮設住宅の常識を破った「熊本型仮設住宅」を指揮



熊本城復旧現場見学会を開催します！

平成30年度の九州ブロック研究集会「建築士の集い」熊本大会の翌日、オプションツアーとして、以下のとおりエクスカーション（体験型の見学会）を実施します。
熊本地震で被災した熊本城の修復現場等を見学できる貴重な機会ですので、是非御参加ください。



Aコース(90分) 定員 45名

Aコースは、熊本城の周辺をガイドと共に巡るものです。

[経路]

城彩苑⇒二の丸広場⇒加藤神社⇒二の丸広場⇒城彩苑

立入禁止区域へ立ち入ることはできませんが、ガイドの解説を受けながら、熊本城の被害や復旧工事の状況を見ることができます。

開催日時 平成30年6月24日(日)
集合時間：9時30分

集合場所 桜の馬場 城彩苑 入口付近
※熊本城・市役所前電停から徒歩3分程度

参加費 無料

申し込み 「建築士の集い」熊本大会申込書に第1希望、第2希望のコースを記入してください。

Bコース(90分) 定員 40名

※参加者はヘルメットの持参が必要です

Bコースは、通常、立入を禁止されている区域内を熊本城管理事務所担当者の説明を受けながら巡るものです。

被災した建造物や石垣の状況を間近に見ることができます。

